

酒々井町多職種連携の会たより



第2号

酒々井町役場健康福祉課
酒々井町地域包括支援センター

今回の酒々井町多職種連携の会たよりは、千葉しすい病院
院長香中伸一郎先生にお話を伺いました。

～先生のプロフィールをお聞かせください～

私は1979年に秋田大学医学部を卒業しました。
秋田大学医学部は、戦後初めての国立大学の医学部で、私はその4期生にあたります。

当時秋田県は、平均寿命が一番低かったこともあり、戦後初の国立大学として創設されました。

私は東京を離れて純朴な秋田県で新設大学の自由な環境で楽しい6年間の学生生活を過ごしました。

卒業後は埼玉医大の循環器内科に入局しました。

そして、医師として最もお世話になった土肥豊教授のもとで虚血性心疾患をテーマに臨床研究を行い、学位専門医を取得しました。

11年目に小川赤十字病院の内科部長になり、7年間勤務したのち再び准教授として埼玉医大の医局に戻りました。

そして、平成18年に土肥教授のご尽力により、上尾中央医科グループの屏風ヶ浦病院（横浜）の病院長に就任しました。

当時、病院は赤字経営に苦しんでいました。

しかし、私と同時に就任してきた事務長、看護部長と三位一体となり、人材確保、病棟再編成など必死に組織改革を実行し、1年弱で黒字化することができました。

そして、この時の体験が大きな糧となりました。

その後、平成24年には、新築移転（現横浜なみきりハビリテーション病院）も行いました。

そんな中、平成25年に千葉光徳会徳田哲理事長から新築移転について協力要請をいただき、その理念に強く共鳴し、もう一度チャレンジしようと思ひ、平成26年に千葉しすい病院の前身である中沢病院の院長となりました。



～千葉しやすい病院の特色についてお聞かせください～

千葉しやすい病院は、現在療養病棟と回復期リハビリテーション病棟の二つ編成ですが、近々にも包括ケア病棟の新設と在宅医療部門の開設を予定しています。

外来部門は、一般外来から検診部門（検診、人間ドッグ）を行っています。

当院では、良質な医療の提供、早期かつ確実な診断を行うため、MRI・マルチスライスCT等医療機器を充実させました。

そして、今後は急性期病院とさらなる連携を深め、在宅復帰までのシームレスな医療を提供し、地域医療に貢献したいと考えています。





～最後に、皆さんにお伝えしたいことがありましたらお聞かせください～

当院の「誇り、自負するところ」と問われれば、迷わず「職員の人柄の良さ（人間性の高さ）と団結力」と答えます。

2019年台風15号が千葉を襲った時、当院は電源を喪失し、水不足という危機に陥りました。酷暑で復旧のめどがたたない中、重症患者150名を1日半で他院に転院させ、真っ暗な病院で汗だくになりながら職員が一致団結し、1週間頑張り続け一人の犠牲者も出さなかった事を思い出します。

今後とも徳田理事長のもと、人柄の良さを持った人間性の高い職員とともに、その団結力を高め発展してゆきたいと思えます。



酒々井町の新しい事業所紹介

★2020年7月1日に居宅介護支援の事業所を開設しました！

事業所名称	ケアプラン・ボンド
代表者	高梨子 淳一
住所	千葉県印旛郡酒々井町墨1593
連絡先	電話 043-309-9613 FAX043-496-2582
営業日	月曜日～金曜日 9:30～16:30 (土日祝日、8/13～8/15、12/29～1/3 休み)
サービス提供地域	酒々井町、佐倉市（佐倉市高齢者福祉・介護計画に定める、根郷・和田圏域）、成田市（成田市介護保険事業計画に定める、西部西圏域）、八街市（八街市高齢者福祉計画に定める、八街北中学校区生活圏域、八街中学校区生活圏域、八街中央中学校生活圏域）
事業所の特色	安心・安全・高品質なサービスを追求し、ご利用者様はもちろんのこと、ご家族の方々にもご満足いただけるサービスを目指してまいります。

日本で新型コロナウイルス感染症の患者が最初に報告されたのが2020年1月16日、それからもう1年以上が経過しました。終わりの見えない状況の中、感染防止にご尽力されている医療関係者、介護関係者の皆様には深く敬意と感謝を申し上げます。

さて、令和2年度の「酒々井町多職種連携の会」は、感染防止の観点から開催をすべて中止としました。

ワクチン接種により感染が収束することを期待し、令和3年度は「酒々井町多職種連携の会」が開催できることを願っています。

◆発行・編集◆

酒々井町役場健康福祉課

酒々井町中央台 4-11 TEL 043(496)1171 (代表)

酒々井町地域包括支援センター

酒々井町中央台 4-11 TEL 043(481)6393